



梅野 光児

防犯の取り組みについて

質問 串本町ではどのような取り組みを行っているのか。

答弁 (総務課長) 串本警察署管内防犯協議会での活動を中心とし、様々な啓発活動、訓練、援助活動等に取り組んでいる。

質問 もう少し踏み込んだ防犯への取り組みをお願いしたい。現在、日本で防犯カメラでの犯罪解決率が90%というぐらい防犯カメラが役に立っている。早急に設置を望むとともに現時点での設置状況を把握しておきたい。

答弁 (総務課長) 防犯カメラの数は民間独自で設置されたものもあり、警察も多数という表現をしている。今後、警察や国土交通省と連携を密に対応していく。

質問 分庁舎・本庁舎、道の駅、なぎさの駅等にも設置を希望する。安心して観光客が訪れられる町づくりを望む。それ以上に子どもたちのスクールゾーンの危険なところや死角ができないような安全な通学路をつくってほしい。

答弁 (教育次長) 横断歩道は串本警察へ連絡したが、順番があるためすぐにはできないとのこと。

質問 歩道のカラー舗装はめり張りができて良いと思うので教育委員会と協議しながら通学路を優先にやっていきたい。

答弁 (町長) 防犯カメラについても地域で協議をしていきたい。

質問 串本町の防災についてお聞きしたい。町の避難所は現在どれくらい指定しているか。

答弁 (総務課長) 避難場所は高台を含め337か所、避難所は101か所。

質問 避難所101か所の中で福祉避難所と認定しているのは何か所か。

答弁 (総務課長) 福祉避難所は3か所。あさかぜ園、上野山にしき園、潮岬あゆみ園。

質問 101か所の中で3か所というのは少ない。各地域につくるべき。高齢者や障害のある方々のために是非お願いしたい。

答弁 (総務課長) 先ほどあげた3か所も町の施設ではない。介護が必要な高齢者、障がい者を対象にしている。3施設以外でも障がい者用トイレを持つ施設はあるので、そちらへの避難も一度検討する。

質問 是非検討を望む。次に防災広場(上野山)について。現在鎖を張って入れない状況になっている。住民アン



上野山防災広場

ケートで公園が欲しいという意見が多数だと聞いたが、防災広場として眠らせておくのではなく公園として開放できないか。

答弁 (総務課長) 上野山防災広場については、臨時ヘリポート、災害時テント用地、耐震性貯水槽が倉庫以外にあります。通常は管理上、車両進入禁止のため入口にチェーンを張っている。平常時、地域の子どもの遊び場などとして活用することは安全面を含め防災グループと前向きに検討していきたいと考えている。



長脊 守

町民グラウンドの整備について

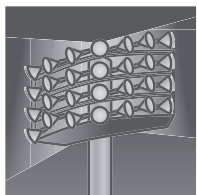
質問 進入口付近からグラウンド以外の立木や雑草の整備予定について尋ねる。

答弁 (教育次長) 進入口付近の土地については、町有地ではない部分があり、状況を見まして所有者等とお話して環境整備に努めていきたい。

質問 町民グラウンド入り口付近の舗装と砂場の砂入れ替え又、夜間照明設置も含め気軽に楽しめるスポーツ施設の提供をどのように考えているのか尋ねる。

答弁 (教育次長) 舗装については、砂利等を入れて対応できないか検討します。砂場については、一度確認し改修等必要であれば考えていきたい。夜間照明については、維持管理を考えると設置につ

ては難しく、利用人数が多く見込まれるのであれば、今後の検討課題としたい。



町の環境整備について

質問 国道等の美化活動の環境として、ポイ捨て禁止看板設置についてと無人駅の委託金額の増額と環境整備について尋ねる。

答弁 (住民課長) 美化活動の一環として、広報やチラシ等による啓発、新宮保健所串本支所等と連携し、不法投棄監視パトロールを年間通し実施。今後、国道等の美化活動は、紀南国道事務所等と連携し取り組んでいきたい。無人駅の委託金額は現状のまま、芳香剤については、設置する方向で検討。

質問 学校や公共施設を活用した防災教育と、生徒や地域との連携した避難訓練又、夜間の避難訓練や学校での宿泊体験の実施について尋ねる。

答弁 (総務課長) 十一月七日四県共同津波避難訓練兼串本町津波避難訓練又、串本・古座川官公署等連絡協議会での津波災害対応訓練等も実施。夜間訓練については、田並地区以外は未実施。大島・須江・樫野地区と大島小・中学校や自衛隊との合同訓練を十月三十一日に実施。又、自主防組織や地域団体を対象として、防災出前講座を毎年実施。学校での宿泊体験は、教育課と協議が必要。

質問 災害時、避難所運営で中心になる地域の防災リーダーの養成(紀の国防災人づくり塾)について尋ねる。

答弁 (総務課長) 串本町内では、十九名の方が防災士の資格習得。町職員は、現在十名取得。

質問 地域の活性について。地域を活用したマラソン大会開催について尋ねる。

大変難しい状況であるが、今後大会が運営できるか検討するため、マラソン大会の視察予算を計上。

質問 検証委員会をいつ立ち上げるのか又、視察場所については尋ねる。

答弁 (町長) フルマラソンは、串本町では難しく思われる中、五キロ、十キロ等のマラソン大会から取り組んで、その中から種目を検討していく方法もあり、ボランティアの世話係等の方々がどの程度必要か、各大会関係者の方々に聞くために、実際にマラソンをされている先進地を各関係機関の方々に検証してもらったための予算を取っており、場所等に関しては各関係機関で決めていただきたい。

